

登録コード	MA003500		開講年度	2026				
授業科目名	がんゲノム医療					担当教員	古庄 知己	
英文授業名	Cancer Genomic Medicine					副担当	中沢 洋三・牧島 秀樹・神田 慎太郎	
単位数	1	講義期間	不定期	曜日・時限	不定期		対象専攻／学年	
講義室				授業形態	e-Learning	授業科目区分		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】 授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔		
	MS 2 6カリ(医科学)・医科, MS 2 5カリ(医科学)・医科, MS 2 4カリ(医科学)・医科, MS 2 3カリ(医科学)・医科							
	【研究科共通】 医学系諸科学における学識と情報収集能力・分析能力、研究技術を備えており、共同もしくは単独で、それぞれの分野における諸課題を解決できる。					⇔	最先端のがんゲノム医療の実践を学ぶことを通じて、遺伝医学および臨床腫瘍学全般の情報収集・分析を行い、自ら課題解決できる。	
	MS 2 6カリ(医科学)・医科, MS 2 5カリ(医科学)・医科							
	【医科学】 生涯にわたって課題を探求し、自らの能力・専門性を高めることができる。					⇔	卒業した後も、認定遺伝カウンセラーとしてがんゲノム医療に貢献できる。	
	【医科学】 幅広い知識を基盤とし、最新情報を収集・分析することにより、社会のニーズに適応した行動をとることができる。					⇔	がんゲノム医療に関する幅広い知識を持ち、それをもとに最新情報を収集・分析し、現場で生じる新たな課題を解決できる。	
	MS 2 6カリ(医科学)・医科, MS 2 5カリ(医科学)・医科, MS 2 4カリ(医科学)・医科, MS 2 3カリ(医科学)・医科							
(2)授業の概要	【保健学】 高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。					⇔	最先端のがんゲノム医療の実践を学ぶことを通じて、高い倫理観と専門的知識を持って遺伝医療・がんゲノム医療に関与できる。	
	・ 北信がんプロ講義							
	・ 信州大学医学部附属病院エキスパートパネル							
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	・ 次世代北信がんプロの理念と取り組みの実践を学ぶ。 ・ がんゲノム医療、がん遺伝子パネル検査の基本事項および運用の実践を学ぶ。							
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	・ 次世代北信がんプロ「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」の本科「シームレス型がん予防推進認定遺伝カウンセラー養成コース」生として、最先端のがん予防推進のあり方について概説できる。 ・ 信州大学医学部附属病院で実施されているがんゲノム医療、がん遺伝子パネル検査の原理・運用法・課題を概説できる。							
(5)授業計画	・ 北信がんプロ講義（https://gan-pro.net/select/）（e-learning視聴、オンコロセミナー、公開講座、多種業連携セミナー、各種セミナー等）への参加（講義：1時間x15回） ・ 信州大学医学部附属病院におけるエキスパートパネル参加（講義：1時間x10回）							
(6)授業の進め方	講義、エキスパートパネル参加							
(7)履修上の注意 ・事前事後学習の内容	・ 担当教員より指示							
(8)成績評価の方法	レポート：可以上							
(9)成績評価の基準	レポート：(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。 4項目までできていれば「やや上にある（良）」。 3項目までできていれば「水準にある(可)」。							
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	中沢 洋三 小児医学教室 牧島 秀樹 血液・腫瘍内科学教室 神田 慎太郎 信州がんセンター 古庄 知己 他 遺伝医学教室（内線5207）							
【テキスト，教材，参考書】								